

ネイティブ牛β-N-アセチルグルコサミニダーゼ

Cat. No. NATE-0779

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 この酵素は、時にβ-N-アセチルヘキソサミニダーゼと呼ばれ、さまざまな基質から末端のβ-結合N-アセチルグルコサミンおよびN-アセチルガラクトサミンを解放することが報告されています。β-N-アセチルグルコサミニダーゼの活性は、発色基質p-ニトロフェニル-N-アセチル-β-D-グルコサミニドで測定できます。β-N-アセチルグルコサミニダーゼは、末端の非還元性N-アセチル-D-ヘキソサミン残基を加水分解します。この酵素は、ヘテロ二量体のHex Aとホモ二量体のHex Bという2つの主要なアイソザイムを含んでいます。N-アセチルグルコサミン、アセトアミド、N-2-アセタミド-2-デオキシグルコシルアミン、N-アセチルノジリマイシン、N-アセチルデオキシノジリマイシンは、知られている阻害剤です。

用途 牛腎β-N-アセチルグルコサミニダーゼは、N-アセチル-β-D-グルコサミニドおよびN-アセチル-β-D-ガラクトサミニドを加水分解するために使用されるリソソーム酵素です。これは、β-GlcNAcおよびβ-GalNAccの効果的なトランスグリコシル化に基づくオリゴ糖のケモ酵素合成に使用されます。アルツハイマー病の研究に役立つツールとなる可能性があります。

別名 ヘキソサミニダーゼ; β-アセチルアミノデオキシヘキソシダーゼ; N-アセチル-β-D-ヘキソサミニダーゼ; N-アセチル-ペータ-ヘキソサミニダーゼ; β-ヘキソサミニダーゼ; β-アセチルヘキソサミニジナーゼ; β-D-N-アセチルヘキソサミニダーゼ; β-N-アセチル-D-ヘキソサミニダーゼ; β-N-アセチルグルコサミニダーゼ; ヘキソサミニダーゼ A; N-アセチルヘキソサミニダーゼ; β-D-ヘキソサミニダーゼ; 9012-33-3; EC 3.2.1.52

製品情報

種	牛
由来	牛の腎臓
形態	硫酸アンモニウム懸濁液。3.2 M (NH ₄) ₂ SO ₄ の懸濁液、pH約6.0
EC番号	EC 3.2.1.52
CAS登録番号	9012-33-3
活性	10-50 ユニット/mg タンパク質
代謝経路	他のグリカン分解、特定の生物系; 他のグリカン分解、保存された生物系
単位定義	1ユニットは、pH 4.25、25°Cで、1.0 μmoleのp-ニトロフェニルN-アセチル-β-D-グルコサミニドをp-ニトロフェノールとN-アセチル-D-グルコサミンに加水分解します。

保管・発送情報

保存方法 2-8°C